

インターネットEDIツール！  
**e-エクスプレス**  
メールハンドリング自動化ツール！  
**MailConnect**

**機能と特長**

総販売元 (株)グローバル・ネットワーク

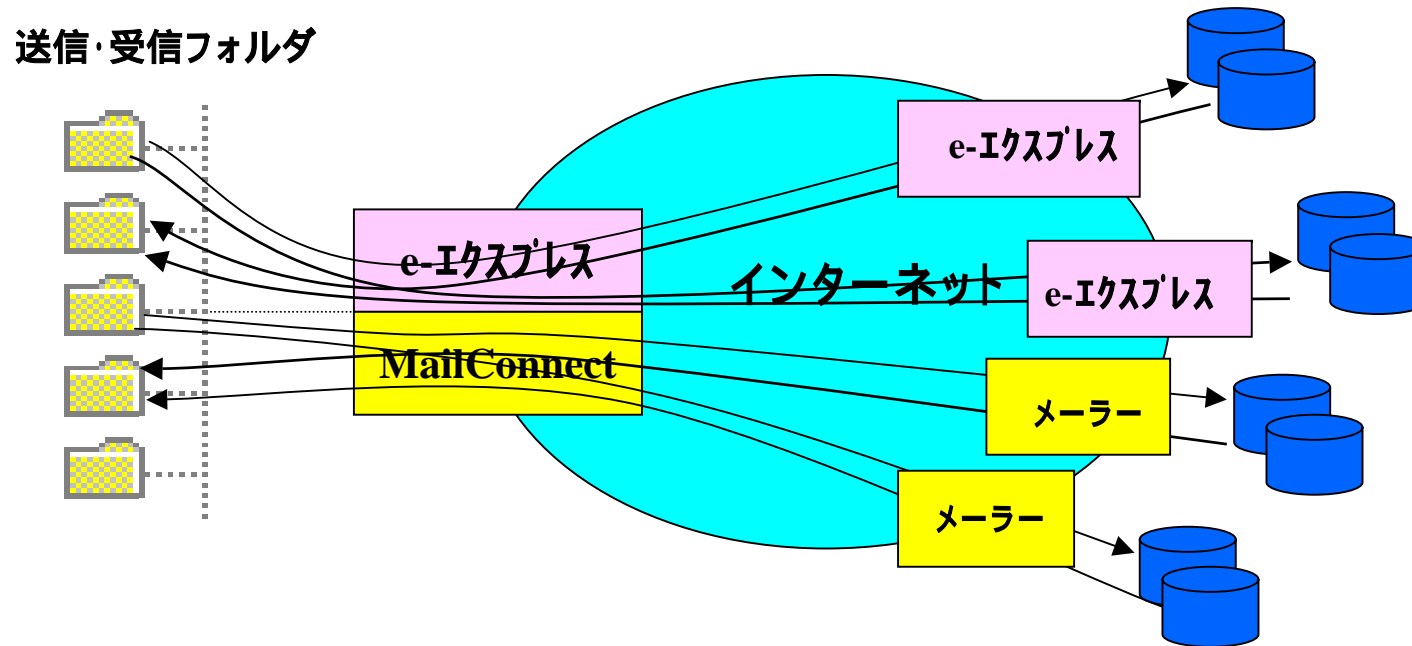
# CONTENTS

- 用途
- e-エクスプレスとMail Connectの相違
- VAN類似(メール)方式
- 送信方法1, 2, 3
- 受信フォルダと自動振り分け
- 送信可能なデータ形式
- e-エクスプレスとMail Connectの同居
- 自動運転
- 受信時ユーザーAPの自動起動
- 障害時の緊急メール送信
- 受信ファイルの取り込み順序
- 受信ファイルの貯蔵方法
- ログの記録・照会・自動抹消
- リモート・ログビューアー
- ACKによる送達確認
- データの自動バックアップ
- 登録アドレス外データの排除
- 各種稼動方式
- リアルタイムプッシュ機能
- 厳重な暗号化方式(1)(2)(3)
- 送受信確認メールの送信
- 大容量ファイルの分割送受信
- 送受信データの圧縮・伸張
- エクスポートとインポート機能
- 送受信時の認証機能

# 用途 (Express / Connect)

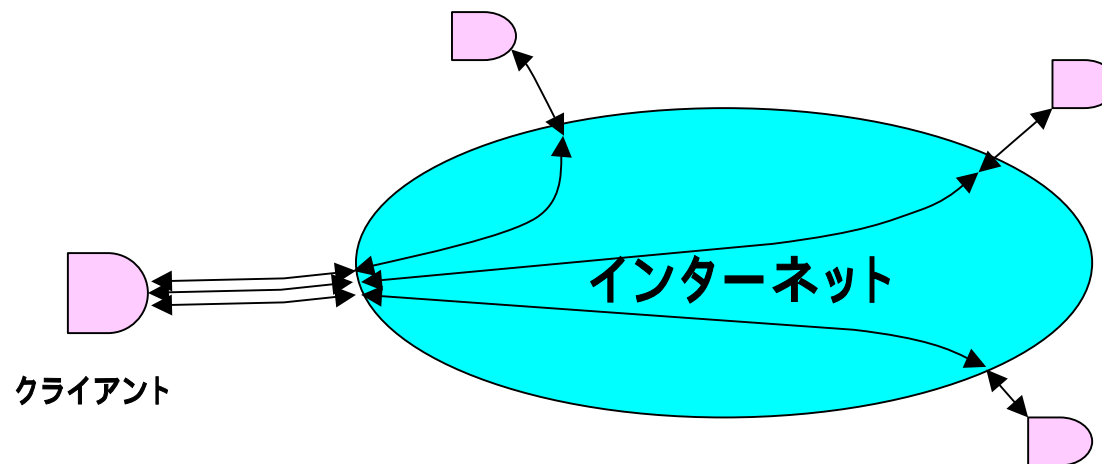
- 得意先・仕入先との受発注
- 海外とのデータ交換(日本語・英語両版サポート)
- 店舗と本社等社内集配信システム
- 技術図面・画像等大容量ファイルの送受信
- レントゲン・胃カメラ写真等医療画像ファイルの送受信
- 物流オンラインシステム
- VANサービス
- 銀行よりの振込通知システム
- SCM(サプライチェーンマネジメント)の情報インフラに
- 各種警報メールの携帯電話やPCへの送信
- メールハンドリング自動化ツールとして
- 空メールシステム作成ツールとして
- メール自動受信 & 振り分けシステムとして

## e - エクスプレスとMail Connectの相違



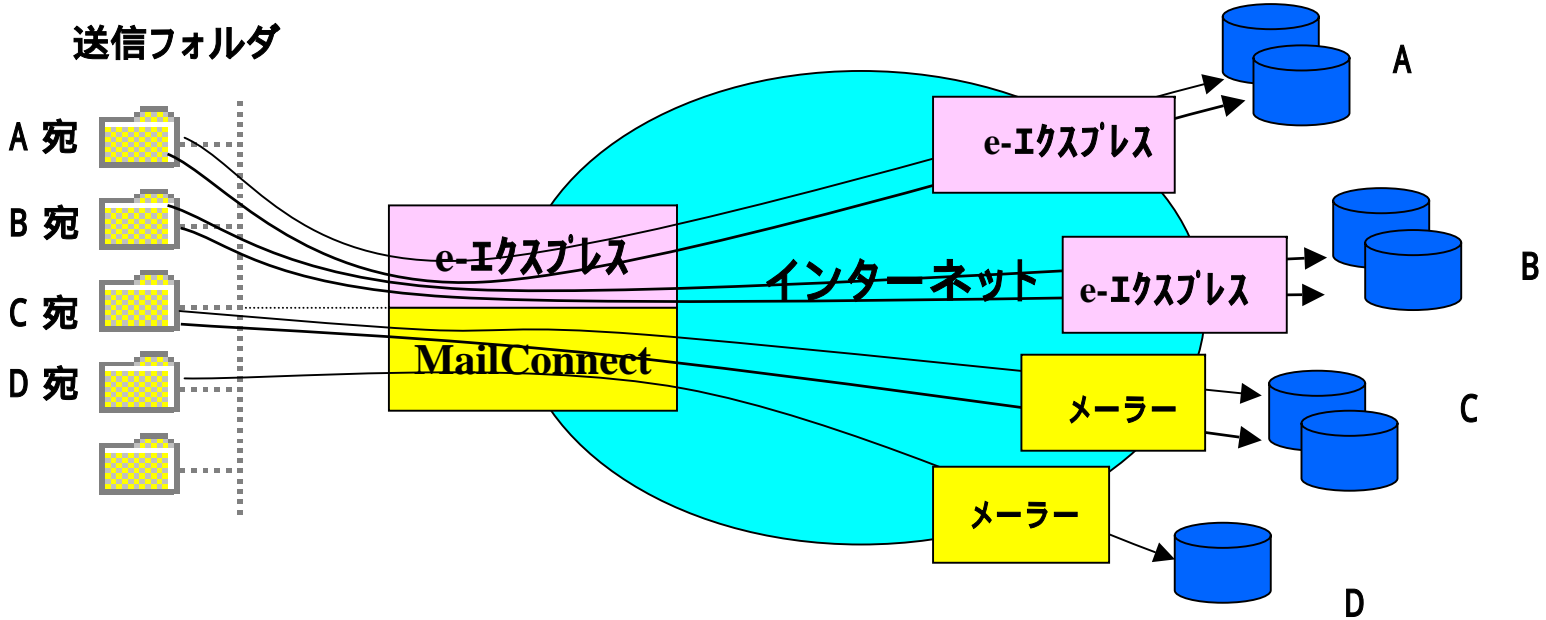
e - エクスプレスはe - エクスプレス同士で通信し、暗号化・復号化、圧縮・伸張、分割・復元が可能なのに対し、Mail Connectは市販メールソフトと通信するため、これら機能は使用できません。

# メールプロトコルを使う VAN類似方式 (Express / Connect)



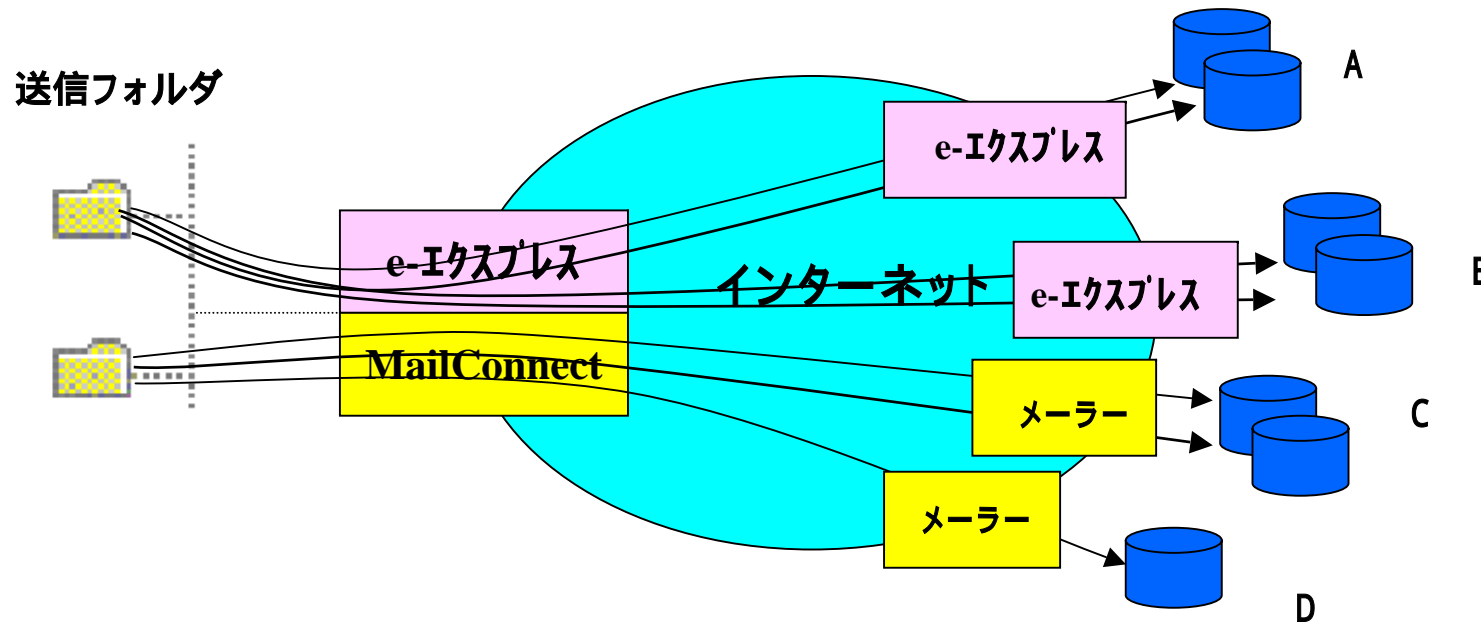
- メールアドレスを新規に確保し、メール方式(SMTP, POP3)で通信
- 送信側と受信側が非同期伝送(VAN類似方式)
- 多くの相手先との送受信データを一括通信処理(サーバー型)
- 安価

# 送信方法1 (送信フォルダと送付先アドレスが対応)



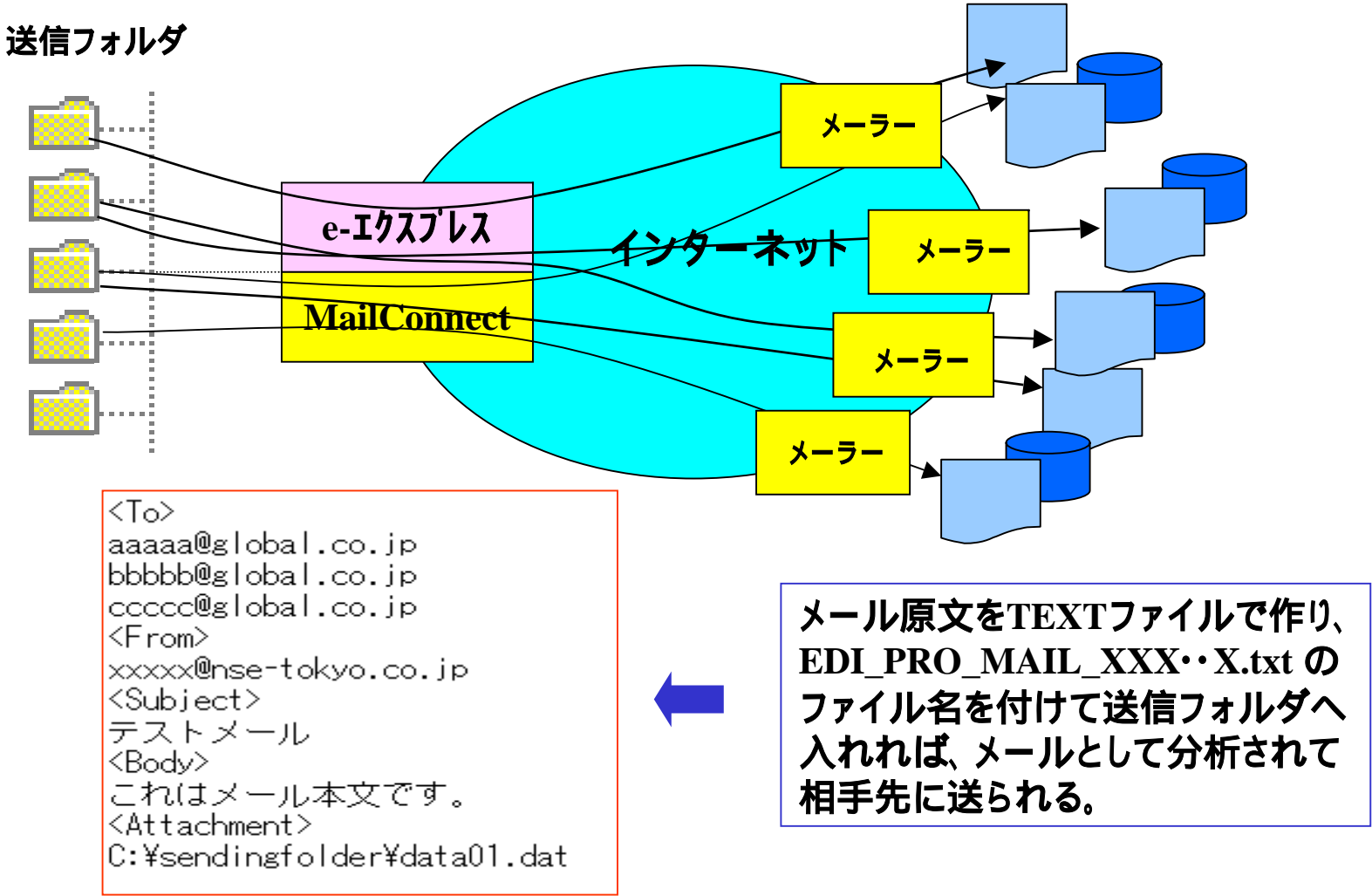
各送信フォルダをアドレス帳のアドレスに対応設定することにより、  
それぞれの送信フォルダに送信データを入れるだけで  
E - エクスプレスがそれぞれの相手先にデータを自動送信する

## 送信方法2 (取引先コードにより当該アドレスに送信)



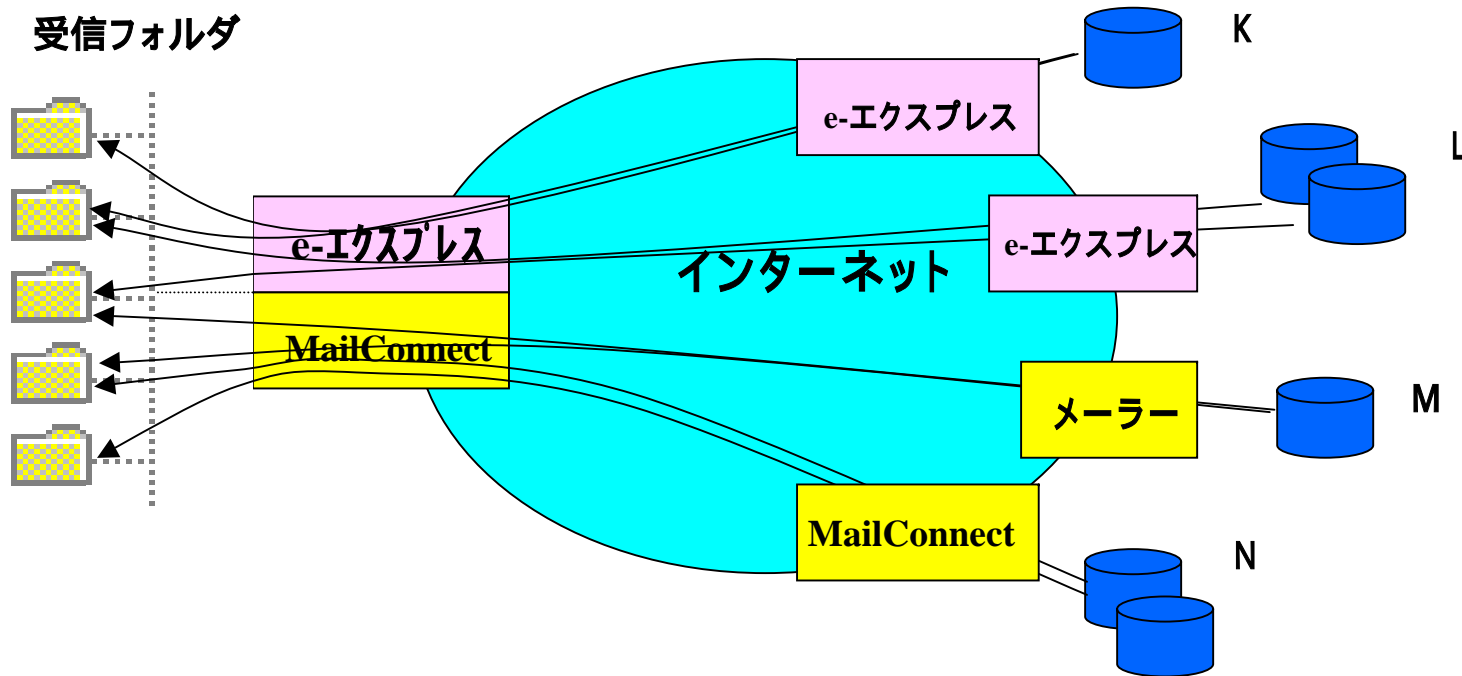
ファイル名によりアドレス帳を参照して相手先を決定。  
ファイル名: 取引先コード' \_XXXXXXXX.XXX (XXX部分は自由)  
最初のアンダースコア“\_”より左側を取引先コードとみなす。

# 送信方法3 (任意のメールを任意の相手に送信可能)





## 受信フォルダと自動振り分け (Express/Connect)



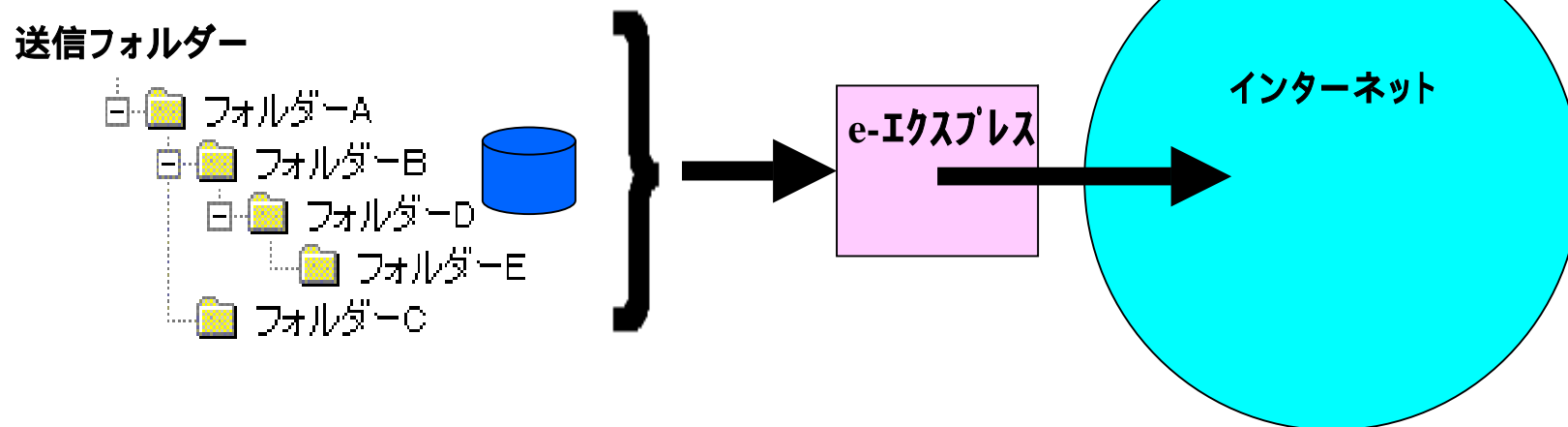
MailConnectでは受信ファイルの、  
送信元メールアドレス、取引先コード、受信ファイル名、件名 (Subject)  
をキーとして、それぞれのAND条件、OR条件の組み合わせにより、  
指定した受信フォルダにファイルを自動振り分けする事ができます。

# 送信可能なデータ形式

## 1. 送信可能なファイルの種類 (Express/Connect)

jpg、exe 等種類に関係なく全てのファイルを送信可

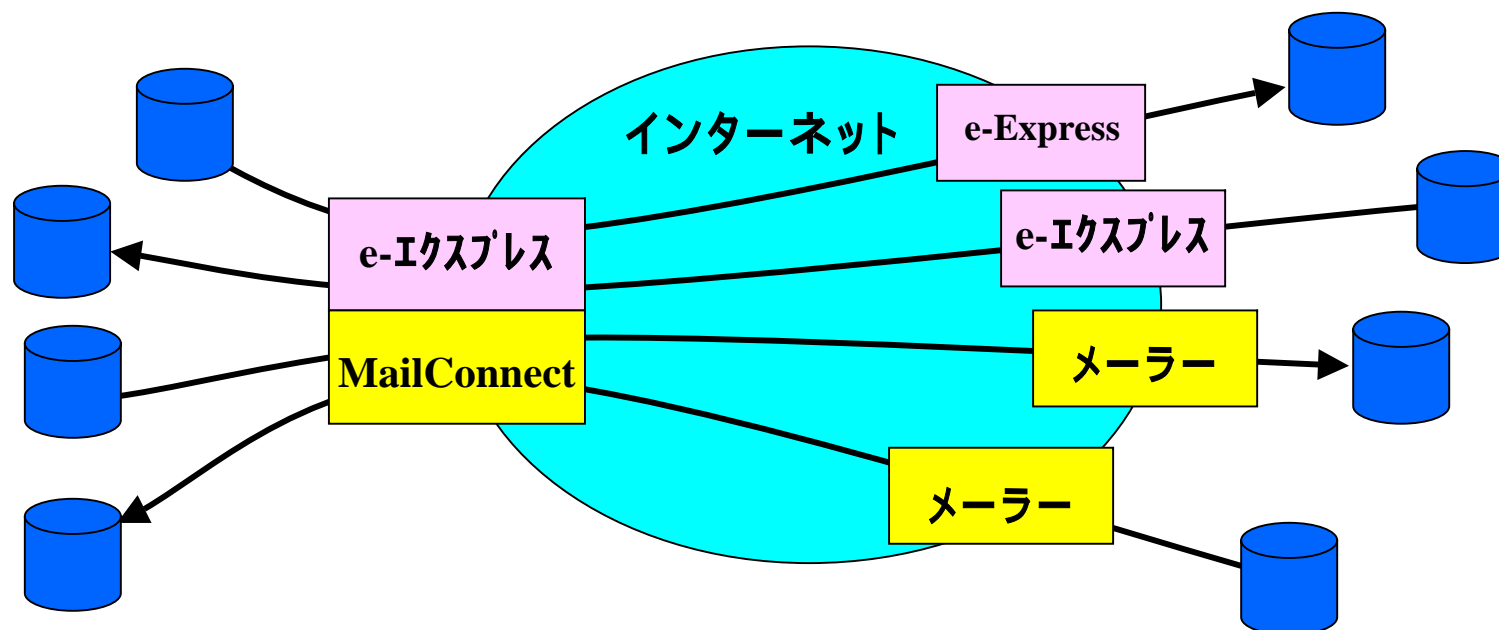
## 2. サブフォルダとファイルが混在する場合 (Express のみ)



送信フォルダー配下の全てのサブフォルダーやファイルも  
位置関係を変えることなく全て送信されます

# e-エクスプレス と MailConnect の同居

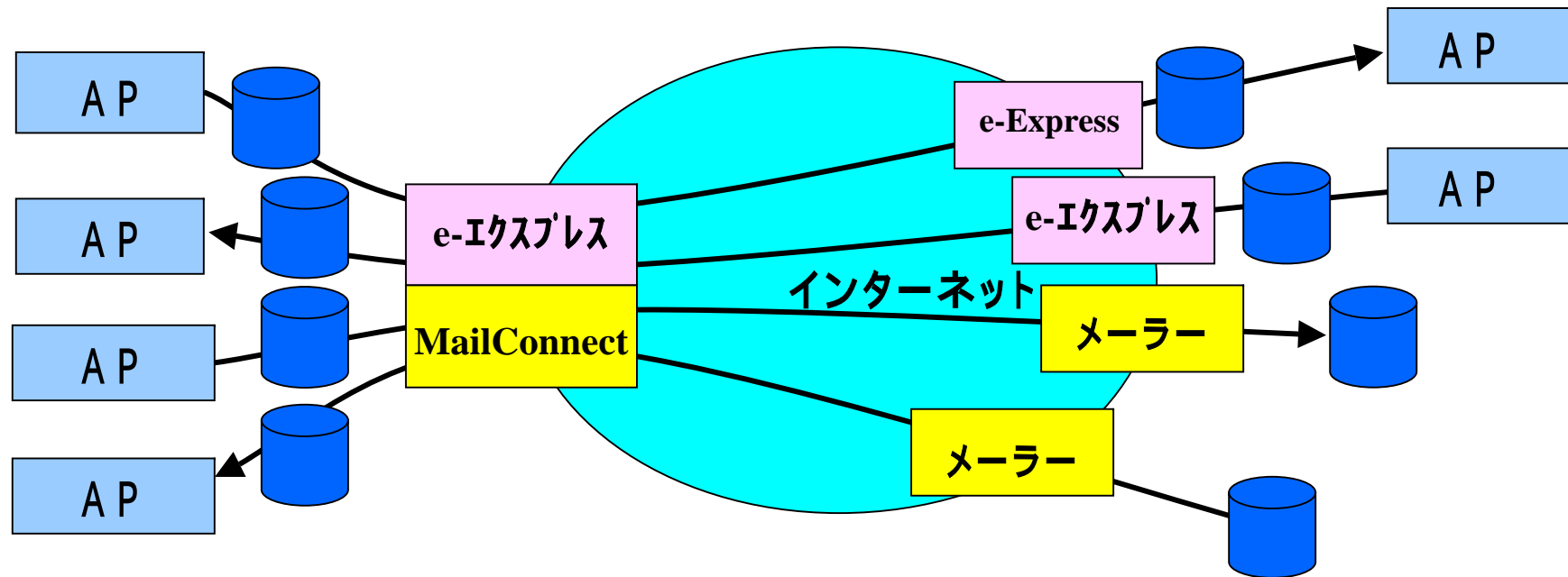
( Express/Connect )



e-エクスプレス と MailConnect は 1マシン上に同居が可能です  
これにより、最初はMailConnect とメーラーで通信し、次ステップで e-エクスプレスでの暗号化通信に切り替えてゆく等が、各相手先毎に可能となります

# 自動運転

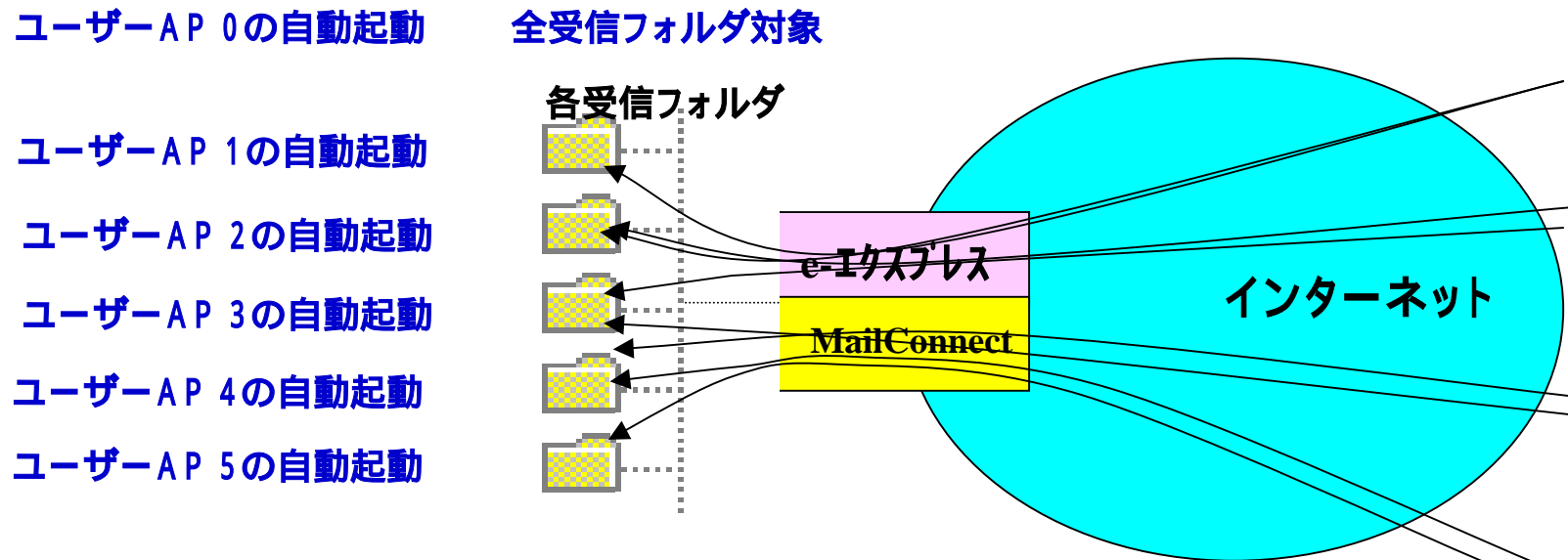
( Express/Connect )



- 送信時 : APで作成された送信データは、e-エクスプレス/MailConnect が自動送信
- 受信時 : データ到着と同時に、予め設定されたユーザーアプリケーションを自動起動

# 受信時ユーザーAPの自動起動

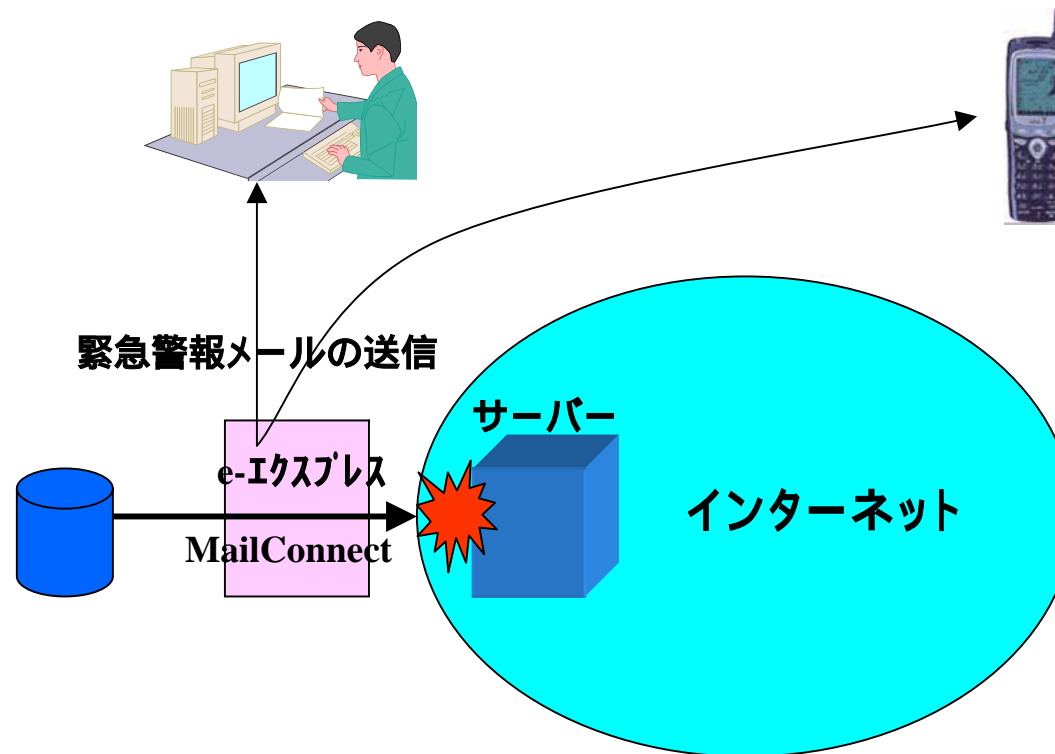
(Express/Connect)



データ受信完了時、ユーザーアプリケーションプログラムの自動起動が可能  
(下記、2種類あり)

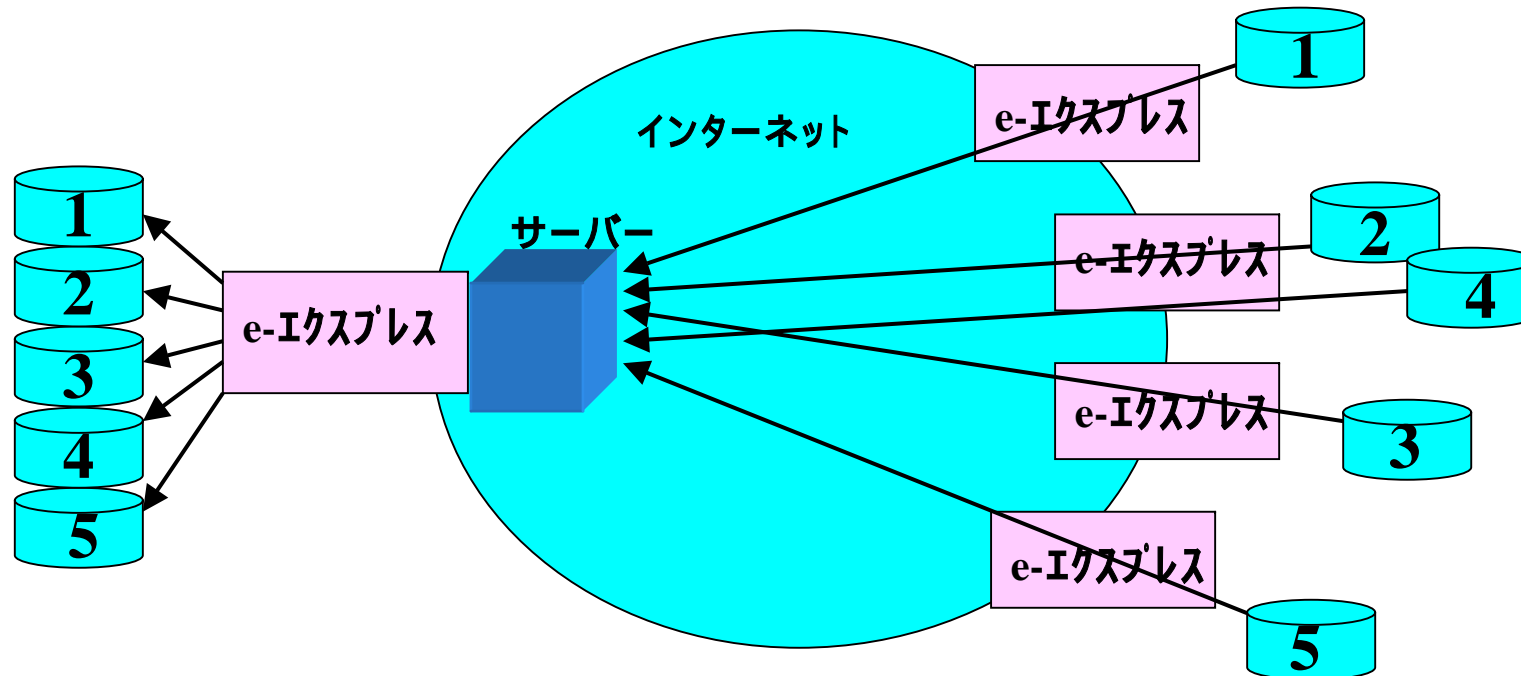
全受信時(受信エラーを除く)を対象に自動起動  
各受信フォルダ毎に対応した自動起動

# サーバー障害時、緊急警報メールの送信



データ送受サーバーに障害があった時、別のメールサーバーを使って、警報メールの送信が可能

# 受信ファイルの取り込み順序 (First In First Out の保証)



受信時、サーバーに複数ファイルが到着していれば  
それぞれの発信時刻 (GMT) の早いものから取り出します

## 受信ファイルの受信フォルダへの貯蔵方法

(同一ファイル名のものがあつた場合等下記5種類の選択が可能)

同一ファイル名の場合別名(2)...で保存

同一ファイル名の場合後ろにアペンド

同一ファイル名の場合上書き

添付ファイルをフォルダでラップ

(フォルダ名:yyyymmdd\_hhmmss\_nnn)

着信メールをフォルダでラップ

( 同上 )



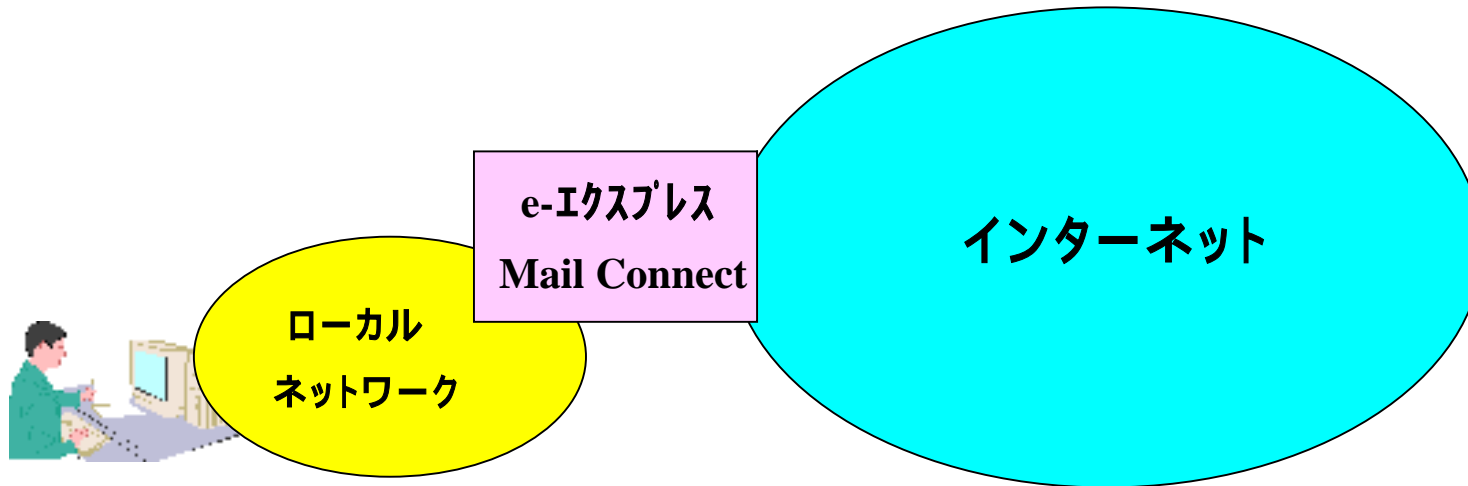
# ログ情報の 採取と記録・照会・自動抹消

3種類のログの記録とその照会が可能

- 送信ログ
- 受信ログ
- システムログ

これらのログは指定した保存日数経過後  
( Default: 50日)、自動抹消されます

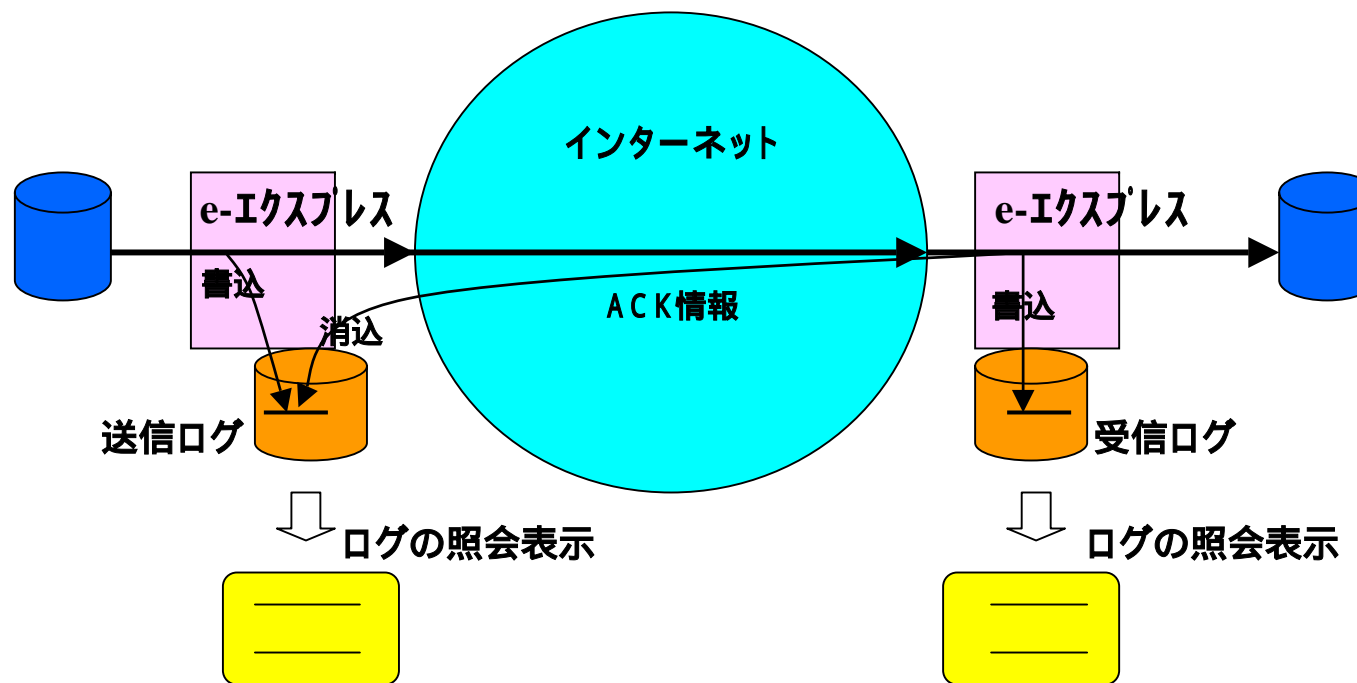
# リモート・ログビューアー



e-イクスプレス / Mail Connect稼働マシンとローカルネットワークでつながっているマシンにリモート・ログビューアーを導入しておけば、リモートサイドから各ログの照会が可能です。

# ACKによる送達確認

(Express)



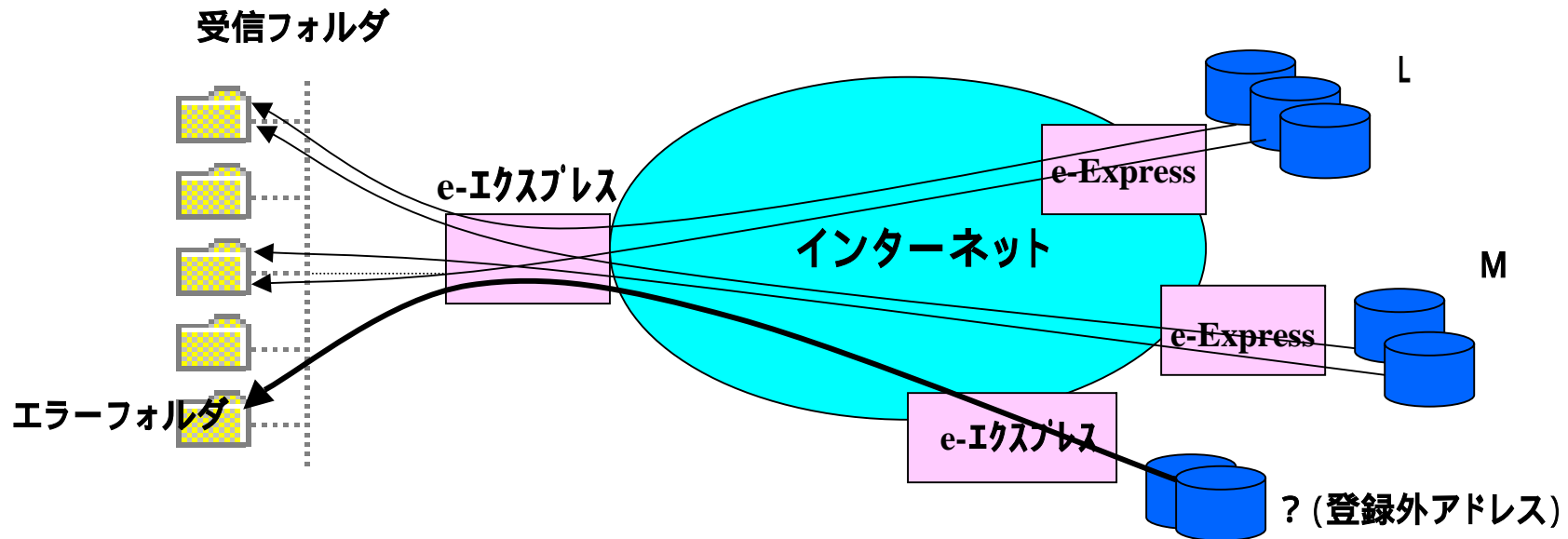
## 送受信データの自動バックアップ

- 送信ファイル・バックアップ・フォルダー
- 受信ファイル・バックアップ・フォルダー
- エラーファイル・フォルダー

(ファイル受信時の認証エラー、アドレス指定エラー等のファイルを収容)

送信ファイル、受信ファイル及び受信時エラーとなったエラーファイルは処理後、全て上記それぞれのバックアップ・フォルダーに貯蔵して保存されます。それぞれのバックアップ・ファイルはユーザーが指定した保存日数経過後(Default:10日)自動抹消されます。

## 登録アドレス外データの排除 (Express/Connect)



予め登録されたアドレス以外から送信されてきたデータは、全てエラーフォルダに収容します。

## 各種稼働方式

### < 送信 >

- 送信(One Shot)
- 常駐型(Interval)
- タイマー起動型
- マニュアル送信

### < 受信 >

- 着信データ取込み
- 常駐型
- タイマー起動型
- 全データ削除後  
データ取込み

## リアルタイムプッシュ機能

### < 送信時 >

常駐 (Interval)型で稼働させる際、インターバルを0秒に設定すると、送信フォルダにデータが入れば、待ち時間無しで即送信します。この機能は常時使用可能です。

### < 受信時 >

メールサーバーにIMAP4機能を稼働させていれば、常駐 (Interval)型で稼働させる際、インターバルを0秒に設定すると、メールサーバーにデータが到着すれば待ち時間無しで直ちにデータ受信する事ができます。

## e-エクスプレスの暗号方式(1)

### 電子商取引通信におけるデータ保護の4条件

- 盗聴からデータを守る(暗号化)
- 改ざん防止(電子署名)
- なりすまし防止(本人認証)
- 送信者認証(本人認証)

e-エクスプレスでは1ファイル送受信毎に  
上記4セキュア処理を実行しています



## e-エクスプレスの暗号方式(2) (Express)

### 暗号方式には共通鍵方式と公開鍵方式

方式	共通鍵方式	公開鍵方式
長所	<ul style="list-style-type: none"><li>・暗号化、復号化にCPU処理時間がかからない</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・鍵の管理が簡単</li><li>・鍵の搬送問題なし</li></ul>
短所	<ul style="list-style-type: none"><li>・相手数が増加すればの鍵の管理が複雑になる</li><li>・鍵の搬送に問題あり</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・暗号化、復号化にCPU処理時間がかかる</li></ul>

### e-エクスプレスではハイブリッド方式を採用 (暗号化メール標準 S/MIME)

公開鍵、秘密鍵: RSA 1024bits

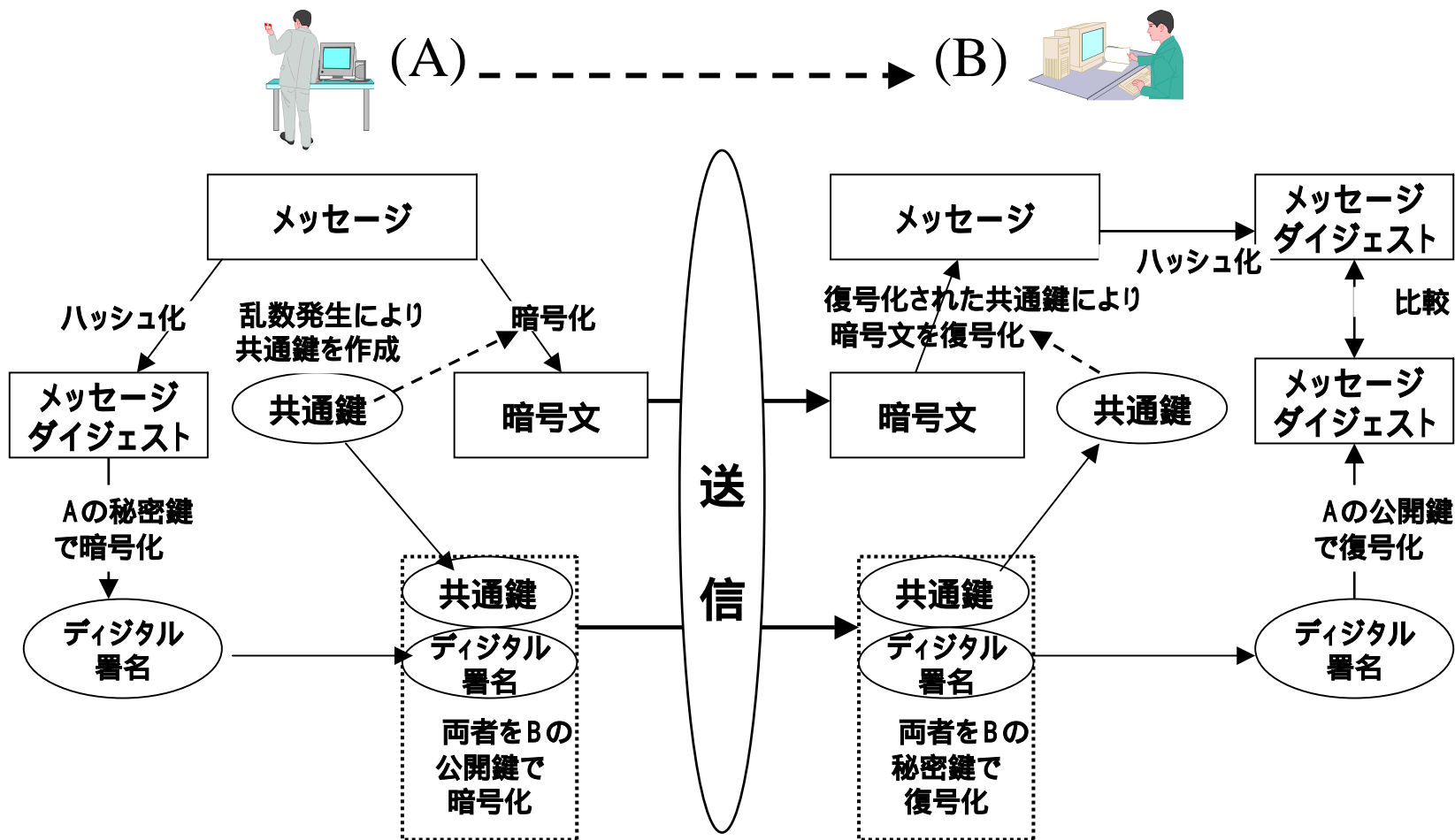
ダイジェスト: SHA-1 (160bits)

共通鍵: DES 56bits

(注)日立製作所製 Keymate Crypto を暗号化エンジンとして採用

# e-エクスプレスの暗号方式(3) (Express)

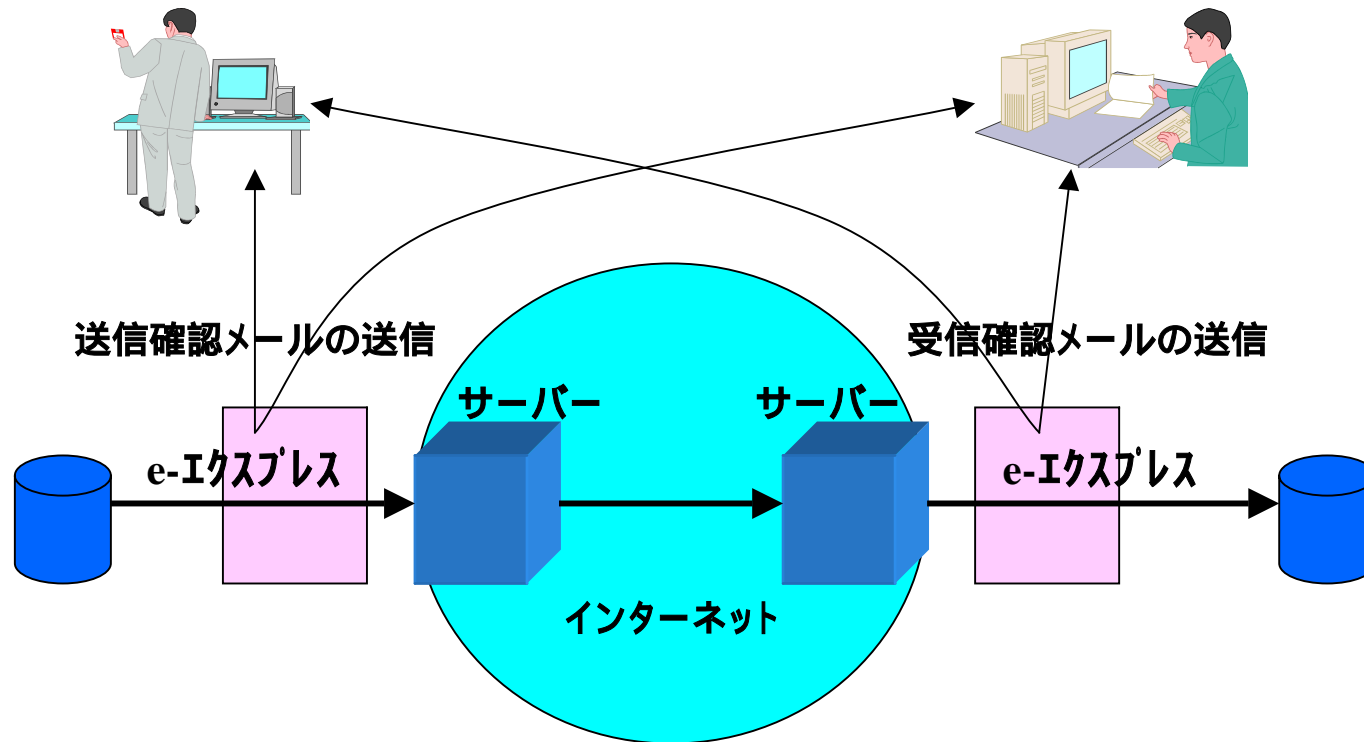
共通鍵と公開鍵の両暗号方式を併用した e-Express 電子認証の仕組み



(注) ハッシュ化: いかなる長さのデータも一定の長さに変換する不可逆変換

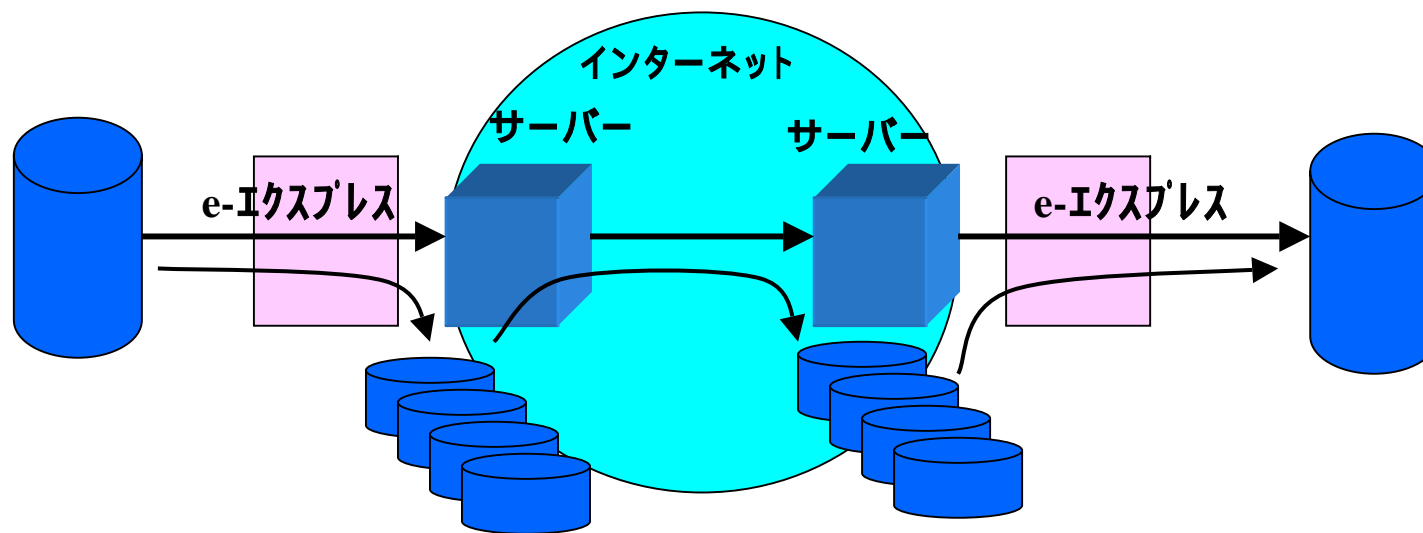
( Express / Connect )

# 送信、受信確認メールの送信



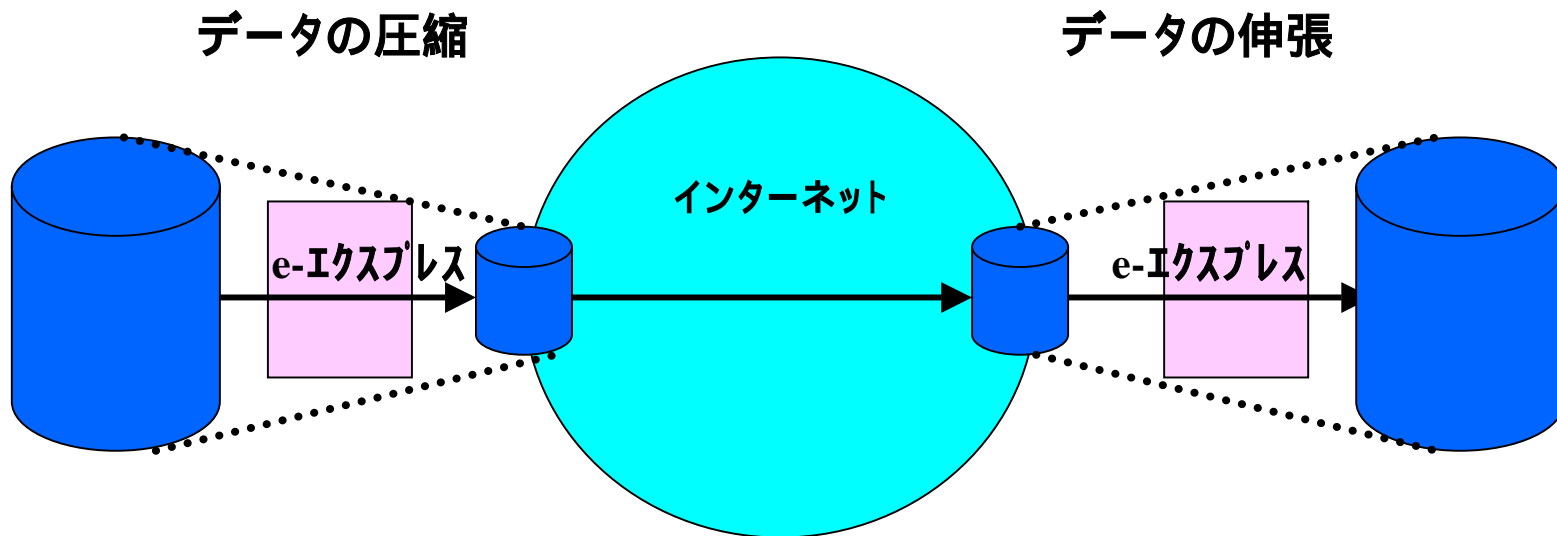
# 大容量ファイルの分割送受信 (Express)

(指定により500KBまたは1MBに分割)



# 送受信データの圧縮・伸張

( Express )



データはトランスペアレント伝送されます

( Express / Connect)

## 各種情報の Export / Import

- 環境設定ファイル
- アドレスブック
- システムログ
- 送信ログ
- 受信ログ

## 送受信時の認証機能

### 【送信時認証機能】

- POP before SMTP

### SMTP認証機能

- PLAIN
- LOGIN
- CRAM-MD5
- DIGEST-MD5

### 【受信時認証機能】

- APOP